

7月、文月です。

文月という言葉は、七夕に詩歌を読む、短冊に文章を書くということに由来するそうです。三学期制学校では、夏休み前のテスト、採点、成績処理とまさに文月の言葉通りの風景がみられそうです。ただし、最近は成績処理などパソコンで一元管理がすすんでいるので、紙に書くのは生徒の答案だけになって風情もなにもあったものではないかもしれません。

そんな季節、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

【1】最新活動報告

6月の活動を報告します。

【2】イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【3】授業のヒント

【1】最新活動報告

6月に行われた部会の様子を報告します。

■名古屋部会 (No. 2) を開催しました。

日時：2015年6月13日(土) 15時30分～17時30分

場所：金城学院大学サテライト

内容の概略：参加者 21名。

第2回名古屋部会は、学校の授業で経済を教える上で役に立つ教材の活用を目的に開催しました。

- (1) 経済教育ネットワークの趣旨や活動を代表の篠原先生(京都学園大学)から紹介のあと、「株式投資ゲームブルサー」の実践紹介を村上聡先生(椙山女学園中)からいたき、実際に参加者が体験を行いました。
- (2) 水野英雄先生(椙山女学園大学)より、株式投資ゲームのメリットや大塚家具等の実際の株価の変動を授業に用いる方法についての解説がありました。
- (3) まとめとして、篠原代表より「教科書で教える「金融」」をテーマに、
 - ①金融経済教育の意義、
 - ②アクティブラーニングによる展開、
 - ③金融や株式を教える上での要点、等についての講演を伺い、質疑応答を行いました。

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya002reportR.pdf>

■京都部会 (No. 29) を開催しました。

日時：2015 年 6 月 19 日 (金) 19 時 00 分～21 時 00 分

場所：同志社大学 良心館 4 階第二共同研究室

内容の概略：参加者 8 名

- (1) 部会の開始に先立って、去る 4 月 28 日に急逝された京都部会のメンバーである奥村光太郎先生 (同志社大学) のご冥福を祈って黙祷を捧げました。
- (2) 篠原総一代表から、今年 8 月に実施される「先生のための夏休み経済教室」(in 大阪) の確定した日程とプログラムの基本方針についての説明がなされました。
- (3) 5 月 9 日の大阪部会で検討された埴 枝里子先生 (東京都立府中東高等学校) の「社会の幸せを経済で考える」と「時間の経済学」についての紹介がありました。さらに、日本経済教育センターによる「たこ焼き屋」の教材についての意見交換が行われました。
- (4) 報告に先立って、「効率と公平」の単元を如何に教えるかが話題になりました。効率の意味については「無駄遣いしない」という考え方が一般的であるが、むしろ「社会の無駄を如何になくすか」の視点が重要であり、効率と公平は対立的な概念として捉えるべきでない、ということが篠原代表から強調されました。
- (5) 野村総合研究所の「NRI 小論文コンテスト」、金融広報中央委員会 (知るぽると) の「先生のための金融教育セミナー」等の案内がありました。

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto029report.pdf>

■東京部会 (No. 76) を開催しました。

日時：2015 年 6 月 25 日 (木) 19 時 00 分から 21 時 00 分

場所：日本大学経済学部本館 2 階会議室

内容の概略：参加者 10 名

- (1) 最初に、異動された榊原宏司さん (東京証券取引所) の後任として鈴木深さんのご挨拶をいただいた。つづいで、石山さんから、夏休み経済教室の準備状況の報告がありました。東証の講義の講師及び内容の変更に関して検討を行ないました。また、篠原代表が担当する講義「金本位制、世界恐慌、ブロック経済」に関する内容検討を、杉田先生 (千葉県立津田沼高校) が作成された「質問メモ」に基づき行われました。
- (2) 篠原代表から、名古屋部会、京都部会の様子が報告されました。
- (3) 教材検討委員会 (東京) が進めている、升野先生 (筑波大学附属中学) 原案の『たこ焼き屋ヤッキー』改訂版の検討が行われました。さらに詰めなければいけない部分が残ったため、大坂部会に持ち込みさらに検討を

加えてもらうこととなりました。

(4) 実践報告関係では、埴先生（東京都立府中東高校）の「時間の経済学」の授業の報告がありました。

6月2日に行われた授業の生徒のワークシート、感想なども持参され、生徒が授業に興味を持ってのぞみ、理解を深めた様子が報告され、今後この教材が生かせるように、展開をさらに考えたいと表明がされました。この実践は、夏の経済教室で報告されます。また、東証と日本証券業協会が発行している『レインボウニュース』の最新号（7月発刊）に掲載される予定です。

(5) 定期考査の試験問題は、新井（小石川中等教育学校）のものが紹介されました。内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo076report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

*これからのイベント、7月以降の部会（開催順）を紹介します。

■夏の経済教室、申し込み受付中です。

8年目の「先生のための夏の経済教室」の申し込み状況をお知らせします。

(1) 日程と申し込み数（6月25日現在）

8月3日名古屋（中）40名 4日（高）41名

8月6日大阪（高）58名 7日（中）60名

8月13日東京（高）171名 14日 150名

8月17日東京（中）113名 18日 99名

例年に比べ、名古屋が増加、大阪はやや少なく、東京高校はかなりの申し込み数、東京中学は例年並みとなっています。各学校に案内は届いているので、関心のある先生方、若い先生方に参加を勧めていただければと思います。

(2) 講師と講義内容の変更

名古屋、大阪、東京高校の部で予定されていた、榊原宏司先生の講義が、鈴木深先生（東京証券取引所）の「株価形成における取引所の役割（仮題）」に変更になります。

(3) 申し込みは以下の東証のHPから受け付けています。

<http://www.jpx.co.jp/learning/seminar-events/seminar/03.html>

■大阪部会（No.44）を開催します

日時：2015年7月4日（土） 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト（予定）

大阪市北区梅田 1-12-17 梅田スクエアビルディング 17 階
参加方法などは以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka44flyerR.pdf>

*9 月以降の部会予定です。

■東京部会 (No. 77) を開催します

日時：2015 年 9 月 5 日 (土) 14 時 00 分～16 時 30 分

場所：日本大学経済学部 (予定)

参加方法などは以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo077flyer.pdf>

■京都部会 (No. 30) を開催します

日時：2015 年 9 月 18 日 (金) 19 時 00 分～21 時 00 分

場所：同志社大学 良心館 4 階第二共同研究室

参加方法などは以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto030flyer.pdf>

■札幌部会 (No. 14) を開催します

日時：2015 年 9 月 12 日 (土) 14 時 30 分～17 時 00 分

場所：キャリアバンク セミナールーム

札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 7 番地 sapporo55 5 階

参加方法などは以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo014flyer.pdf>

■名古屋部会 (No. 3) を開催します

日時：2015 年 10 月 17 日 (土) 15 時 00 分～17 時 00 分

場所：椋山女学園大学 現代マネジメント学部棟 3 階 303 講義室

参加方法などは以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya003flyerR.pdf>

*関連団体の情報です

■2015 年度 NRII 学生小論文コンテストのご案内

10 回目になる、野村総合研究所の小論文コンテストです。高校生の部、
大学生・留学生の部があります。高校の場合は、夏休みの宿題とリンクさせて
取り組ませることもできます。

本年度のテーマは、世界に向けて未来を提案しよう！2030 年に向けて－
「守るもの」「壊すもの」「創るもの」です。

高校生への締め切りは、9月14日。 詳細は下記のHPをご覧ください。

<https://www.nri.com/jp/event/contest/gaiyo/index.html>

■金融広報中央委員会「先生のための金融教育セミナー」のご案内（2015/8/11～12）

児童・生徒や大学生に、おかねとの正しい関係を伝え、現実社会を生きる力を育むために、金融教育について考えるためのセミナーです。基調講演や鼎談、実践発表やワークショップなどを通じて、金融教育の実践に向けた手がかりを紹介するものです。

詳細は下記のHPをご覧ください。

<http://www.shiruporuto.jp/event/2015/15semi/>

■金融広報中央委員会「金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」のご案内

(1) 第48回「おかねの作文」コンクール（中学生）

(2) 第13回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール

この二つは、中学生と高校生向けの作文、小論文コンクールです。これも夏休みの宿題とリンクさせて取り組ませることができます。

どちらも締め切りは、9月20日。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.ron2015.jp/>

(3) 第12回「金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」

12回目になる先生方の向けのコンクールです。小論文部門、実践報告部門、研究部門の三部門があります。締め切りは、9月30日。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.ron2015.jp/pdf/tc.pdf>

■第38回 授業のネタ研究会 IN 関西

とき 2015年8月23日 9:35～17:00

ところ 高津ガーデン（大阪上本町 北東徒歩5分）

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/38th%20Neta%20.pdf>

【 3 】 授業のヒント

■落語から経済を教える

大竹文雄先生の『経済学のセンスを磨く』日本経済出版社刊、のなかに落語「千両みかん」を素材に価格と価値、勝者ののろい、シグナルを扱った文章がありました。

落語には経済を教えるヒントが結構あります。「千両みかん」もそうですし、有名な「花見酒」などもそれにあたります。「花見酒」はかつて柳信太郎氏が

『花見酒の経済』という本を出して高度成長政策を批判したので論争になったこともあります。現在のアベノミクスも「花見酒」かどうか、吟味をしてもよさそうですね。

ほかにも「宿屋の富」とか「芝浜」などは経済に絡んだ展開ができるでしょう。同じ落語でも東西で違うので、その違いから経済史の話もできます。

東西の違いと言えば、先にあげた「宿屋の富」は関西の「高津の富」が源流だそうです。すこし横道にそれますが、筆者は亡くなった桂枝雀が好きで、良く聞きます。枝雀師匠の「高津の富」のまくらには、「お金には回るルートがあるんですね。だから、そのルートのニアバイにいる人には回るけれど、ファーラウェイにいる人には回って来ません。そして、お金は寂しがり屋なんですね。少しでも仲間が多い方に集まろう集まろうとします。ですから、沢山のお金を集めようとしたら、まずお金を沢山ためなければなりません」という文言があり、言いえて妙だと感心をしています。

落語は、経済だけでなく古文の学習（「千早ふる」など）でも、人間理解のための素材（談志いわく「落語とは人間の業の肯定」）でも、とにかくいろいろな使い道があります。資料として使うだけでなく、先生方も教室で一席語ると、生徒から笑いがとれ、尊敬されるかもしれません。いや笑われて、あきれられるだけかもしれませんけれど。

なお、落語の内容は、『古典落語』上下（講談社学術文庫）などで参照してください。
(新井)

【 4 】編集後記（みみずのたはこと）

18歳選挙権が正式に決まりました。社会科、公民科の教育にとって新たな段階がはじまると思います。どれだけリアルに現実に肉薄できるか。その本気度が問われる時代になりそうです。同じように、経済教育も問われているのは、経済の現実にリアルに迫る教員の本気度かもしれません。こんなアジ演説まがいの言葉を語るから、団塊世代の年寄りほこまったものですね。（新井）

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

=====
(C) Network for Economic Education ◆◇